

南海トラフ地震

ーその時の備えー

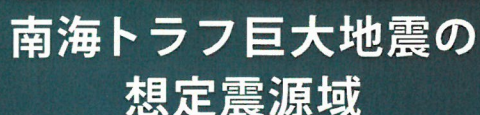
知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

次の南海トラフ地震は
いつ起きてもおかしくありません。



南海トラフ



南海トラフ巨大地震の
想定震源域



最大震度

7



想定される津波高

最大 30m 超

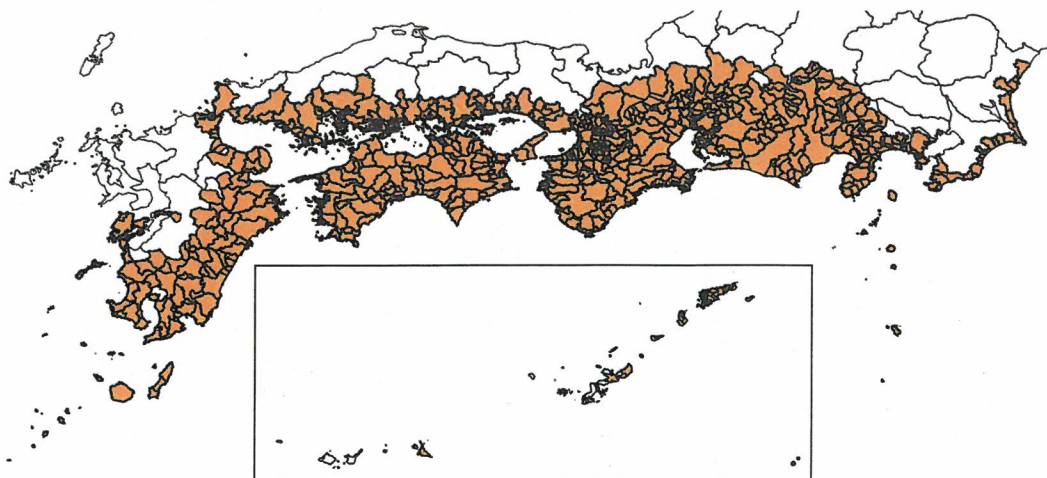
南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

■南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



南海トラフ地震が発生したら・・・



地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

突然の揺れ

家庭で

頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる



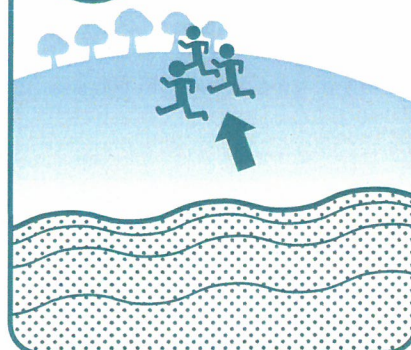
屋外で

ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる



沿岸部で

津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する



地震は一度では終わらないかも

～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕

1854年
安政東海地震

M8.6

約32時間後

M8.7

1854年
安政南海地震

1944年
昭和東南海地震

M8.2

約2年後

M8.4

1946年
昭和南海地震

※Mはモーメントマグニチュード

※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。





時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ

南海トラフの想定震源域またはその周辺で
M6.8以上の地震が発生

南海トラフの想定震源域のプレート境界面で
**通常とは異なる
ゆっくりすべりが発生した可能性**

発生から5分～30分後



南海トラフ地震臨時情報（調査中）

防災対応をとる必要あり

必要なし

プレート境界の
M8.0以上の地震（※1）

M7.0以上の
地震（※2）

ゆっくりすべり
（※3）

それ以外



南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震警戒）



南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震注意）

南海トラフ地震臨時情報
（調査終了）

- 日頃からの地震への備えを再確認する等
- 津波からの避難が間に合わない一部の地域では引き続き1週間避難を継続



国からの
呼びかけ等
に従って行動を

- 日頃からの地震への備えを再確認する等



- 通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

- ・警戒措置を解除し、さらに1週間、地震への注意措置をとる。

- 日頃からの地震への備えを再確認する等

- 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

- 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意



発生後

2時間程度～1週間※

1週間～2週間

2週間～

※ゆっくりすべりが観測された場合は、それが収まったと評価されるまで

※1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生

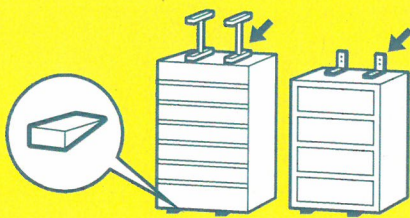
※2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）

※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

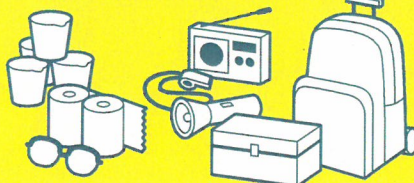


地震の発生に備えよう

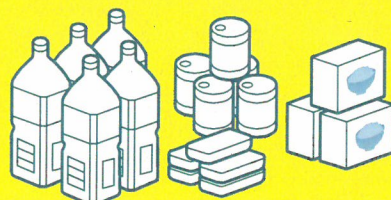
□ 家具の固定



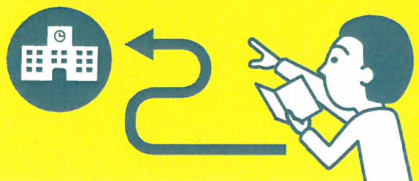
□ 非常用 持ち出し袋の準備



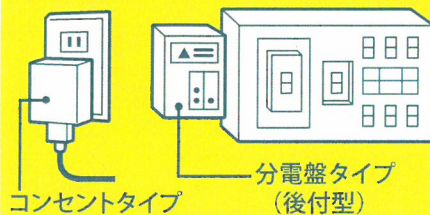
□ 水や食料の備蓄



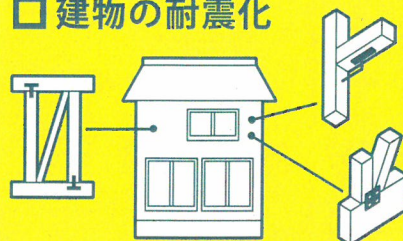
□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

(発表条件)

i 南海トラフ地震 臨時情報

キーワード

調査中

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合

- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

i 南海トラフ地震 関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

i お問い合わせ先



内閣府
Cabinet Office



内閣府政策統括官(防災担当)付
参事官(調査・企画担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎8号館
電話：03-5253-2111 (大代表) FAX：03-3501-6820
内閣府ホームページ <http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>



気象庁
Japan Meteorological Agency



気象庁地震火山部地震予知情報課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：03-3212-8341 (代表) FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)
気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>

切迫する「南海トラフ巨大地震」～被害想定（内閣府）～

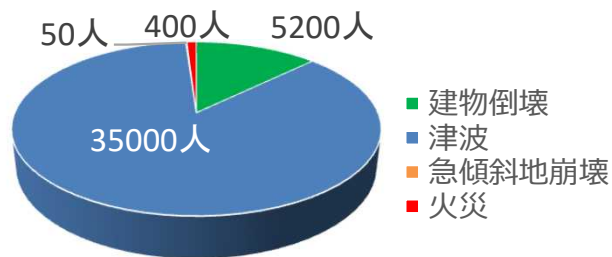
○内閣府（防災） 被害想定【令和7年3月31日発表】

【徳島県の被害】

市町村名	最大震度	最大津波高 [m]	津波到達時間 [分]				
			津波高 +1m	津波高 +3m	津波高 +5m	津波高 +10m	津波高 +20m
徳島市	7	7	41	45	52		
鳴門市	7	7	47	51	56		
小松島市	7	6	34	37			
阿南市	7	16	12	15	16	27	
吉野川市	7	--					
阿波市	7	--					
美馬市	6強	--					
三好市	7	--					
勝浦町	7	--					
上勝町	7	--					
佐那河内村	6強	--					
石井町	7	--					
神山町	6強	--					
那賀町	7	--					
牟岐町	7	15	6	11	15	27	
美波町	7	24	10	13	15	24	
海陽町	7	21	5	8	10	24	
松茂町	7	7	45	49	54		
北島町	7	--					
藍住町	7	--					
板野町	7	--					
上板町	7	--					
つるぎ町	6強	--					
東みよし町	6強	--					

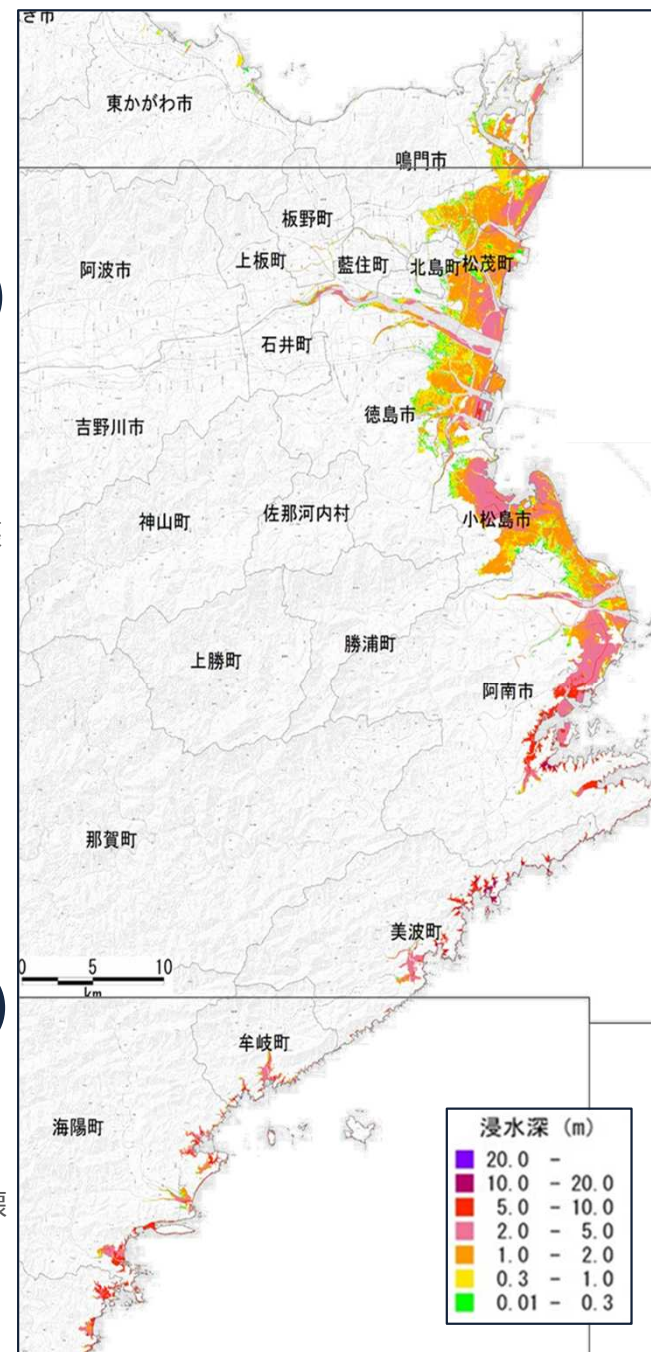
死者数

約 4.1 万人
(冬・深夜に発生)



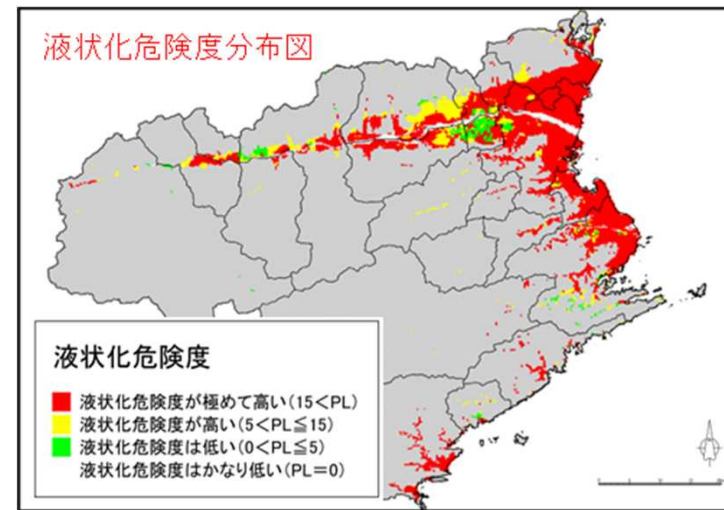
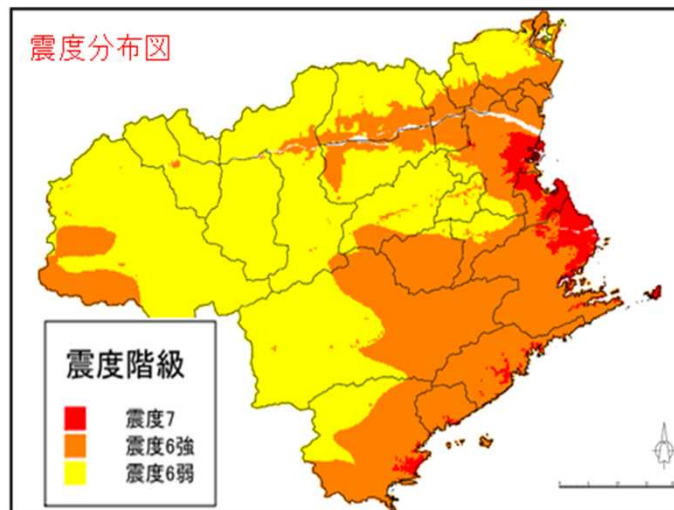
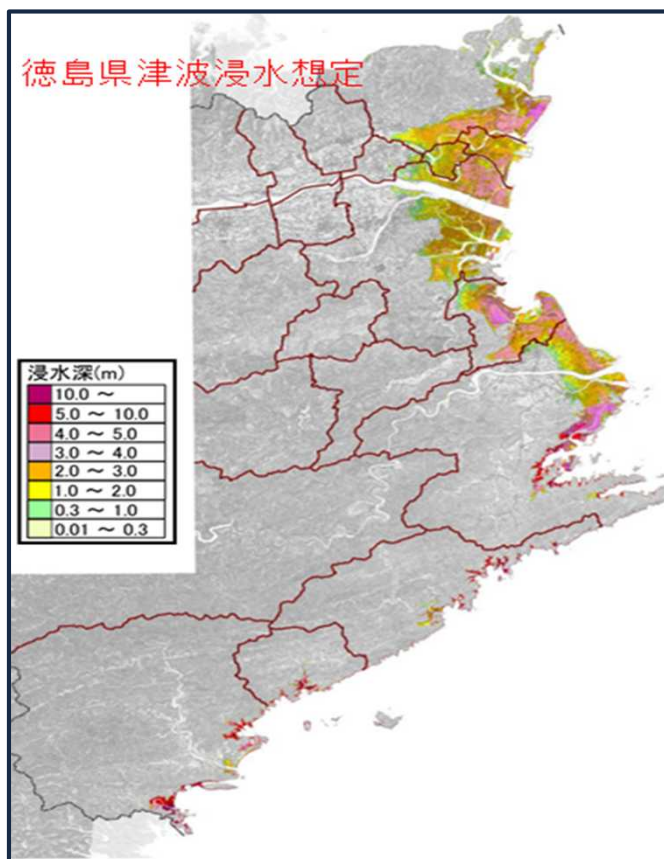
全壊棟数

約 13.6万棟
(冬・夕方に発生)



切迫する「南海トラフ巨大地震」 ～被害想定（徳島県）～

○徳島県 被害想定（平成24年 公表）



建物全壊棟数・死者数（最大ケース）

全壊棟数：116,400棟

【内訳】

- ・揺れ 3,900人
- ・急傾斜地 30人
- ・津波 26,900人
- ・火災 470人

死者数 31,300人

【内訳】

- ・揺れ 60,900棟
- ・液状化 540棟
- ・急傾斜地 360棟
- ・津波 42,300棟
- ・火災 12,300棟

県民のみなさまへ

被害の防止・軽減のためには、住宅の耐震化や家庭での備蓄、迅速な避難行動等、日頃から取り組んでいないと、災害時のいざというときには、行動できません。

「自分の命は自分で守る」という防災意識を持つことが重要です！

南海 トラフ地震 その日が来たら...

マンガで
解説!

保存版

西側編

必要な行動や事前準備を
今から知っておこう!

地震が来たらどうするの?
津波警報はどういうもの?
南海トラフ地震臨時情報ってなに?

 **内閣府**
Cabinet Office

政策統括官（防災担当）付
参事官（調査・企画担当）

〒100-8914
東京都千代田区永田町 1-6-1
中央合同庁舎 8 号館 3F
TEL : 03-5253-2111（大代表）
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index.html>



 **気象庁**
Japan Meteorological Agency

地震火山部地震火山技術・調査課

〒105-8431
東京都港区虎ノ門 3-6-9
TEL : 03-6758-3900（代表）
FAX : 03-3584-8643（国の不自由な方向け）
<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nateq/index.html>

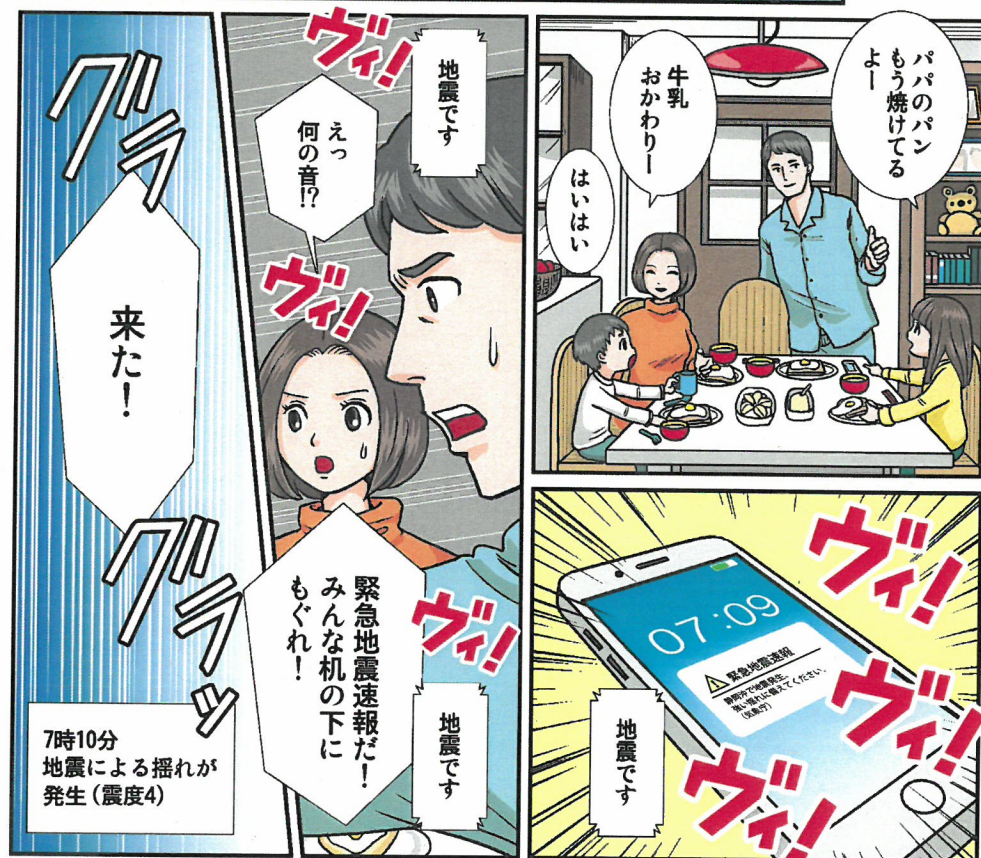
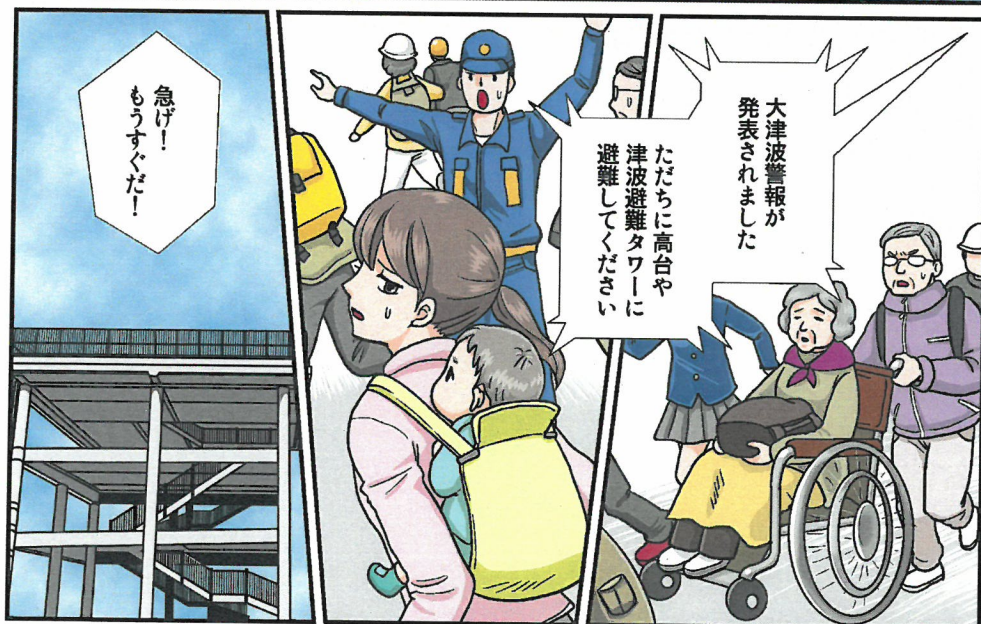


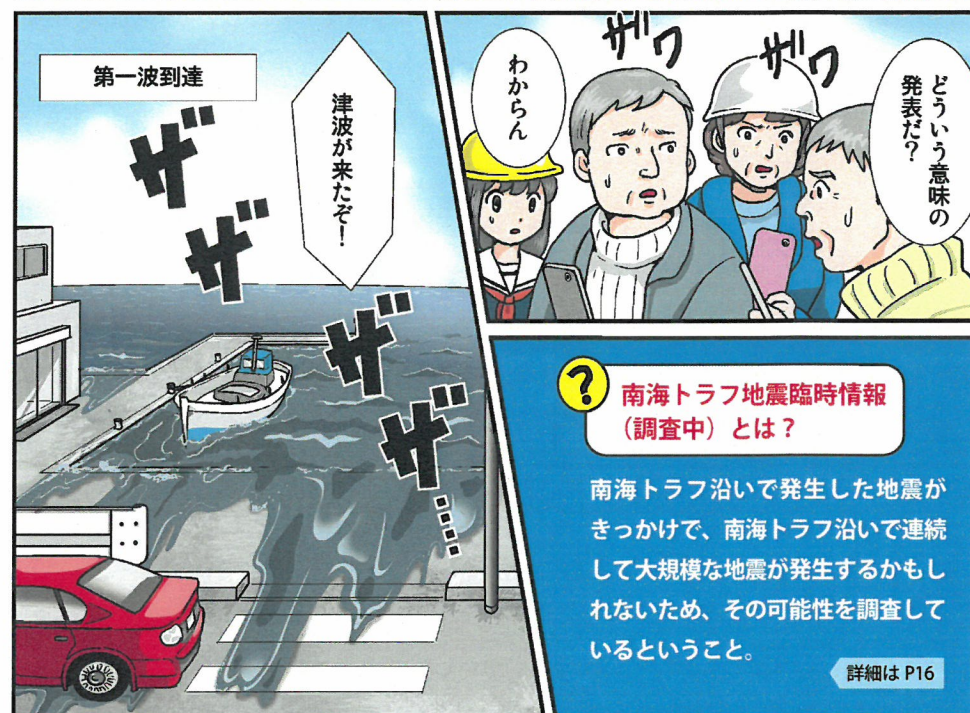
 **総務省消防庁**
Fire and Disaster Management Agency

国民保護・防災部防災課

〒100-8927
東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎 2 号館
TEL : 03-5253-5111（代表）
<https://www.fdma.go.jp/>









? 南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒) とは?

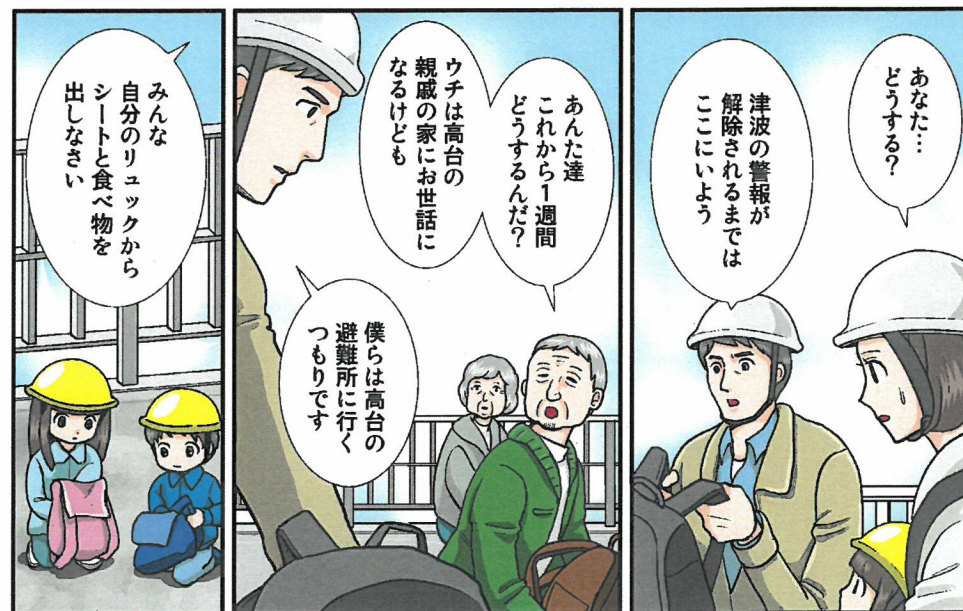
南海トラフ沿いで発生した地震がきっかけで、南海トラフ沿いで連続して大規模な地震が発生する可能性が高まっている際に発表される情報のこと。

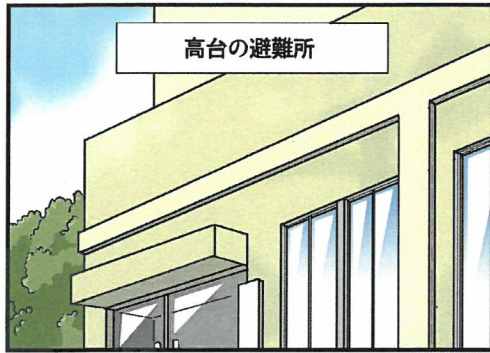
詳細は P16

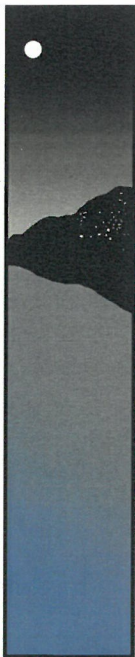
? どういった行動をとればいいの?

南海トラフ沿いで連続して発生する大規模な地震に伴う津波からの避難が間に合わない地域 (事前避難対象地域) の住民は1週間避難を続けてください。それ以外の地域の住民も地震に対する日頃からの備えを再確認してください。

詳細は P17 ~ 19







会社近くのスーパー

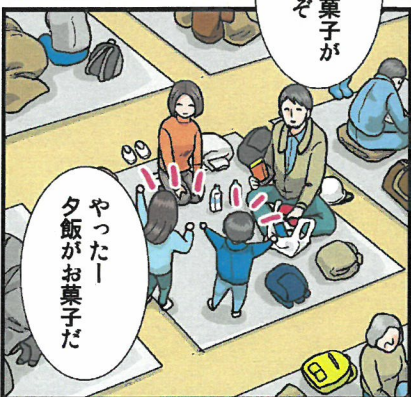
長い列もないし
商品も少しは棚に
残っているな

海から少し
はなれただけで
えらい違いだ

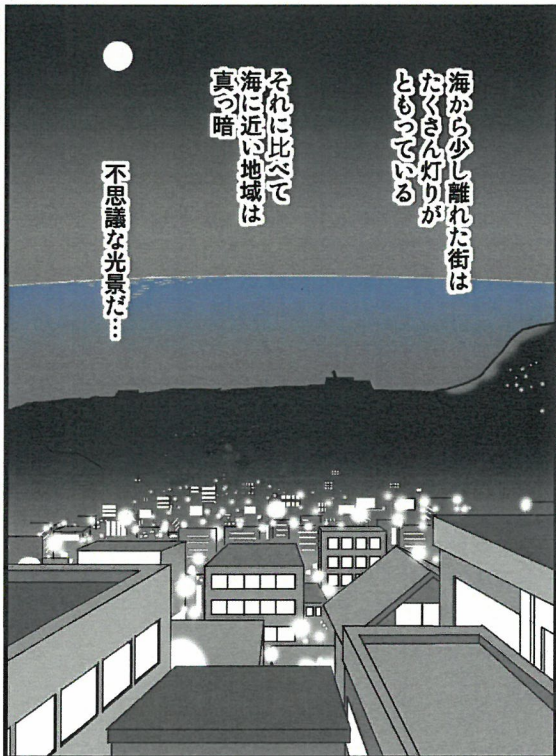


19時10分 避難所

水とお菓子が
買ったぞ



やったー
夕飯がお菓子だ



海から少し離れた街は
たくさん灯りが
ともっている
それに比べて
海に近い地域は
真つ暗

不思議な光景だ...



私は家が高台の方
なので津波の心配は
ありませんが

次の地震に備えて
家具の固定などを
再確認しました

うん
水や食料の備蓄、
非常用持ち出し袋も
しっかり確認して
おかないとな



電車が動いてて
助かったよ

避難先で親や子供の
面倒をみないといけない
ため出社できない社員が
いるようです

みんな生活は
大丈夫か?



勤務先到着

あ！
課長！

よくここまで
来れましたね



そのあと
会議だ

BCPをもとに
次の地震が発生した
場合の会社の方針を
決めよう

はい！



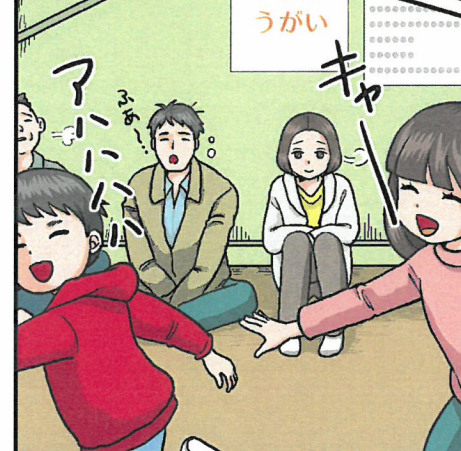
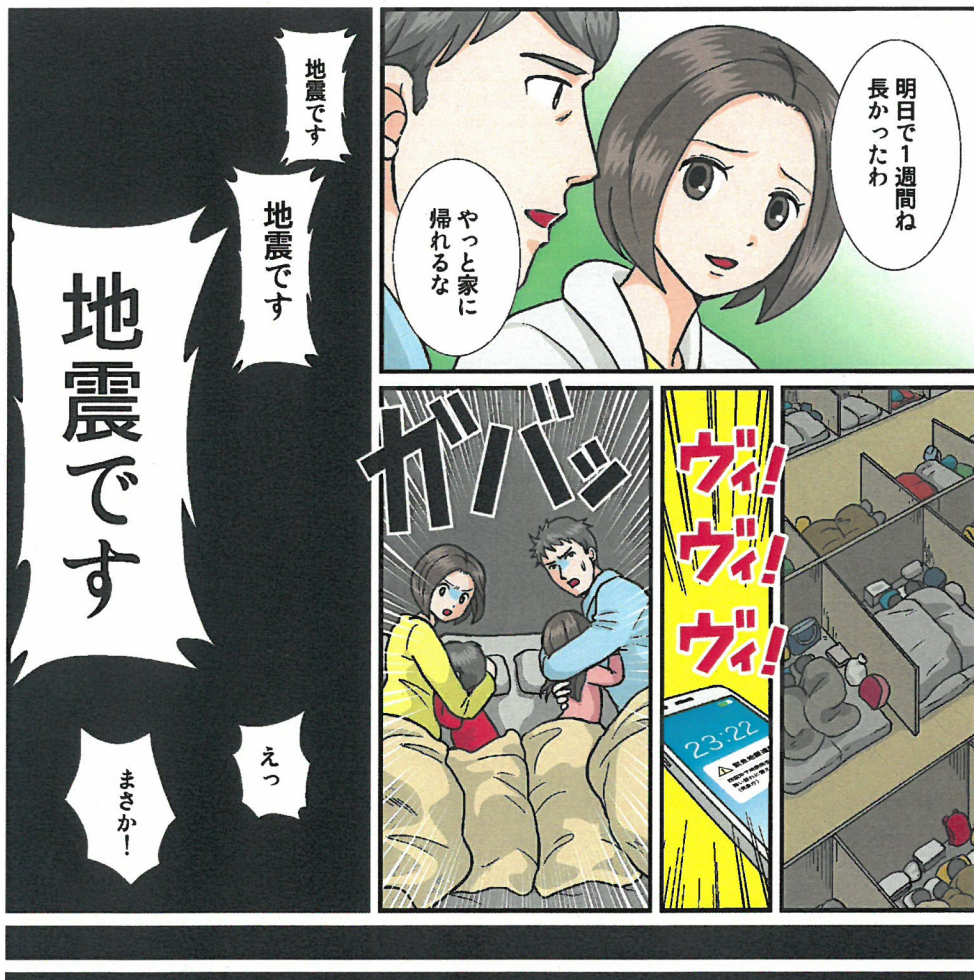
BCPとは？

不測の事態が発生しても、事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のこと。



じゃあまずは
震源に近い関連会社の
被害を調べてくれ

はい！



このあと、震度7の揺れがこの地域を襲いました。
また、地震に伴う巨大な津波がこの一家の住む地域に襲来し、
南海家の自宅は流されてしまいました。
しかし、南海トラフ地震臨時情報を受け、
この家族は事前に避難していたため、全員無事でした。
南海トラフ地震はもしかすると明日に起こるかもしれません。
そのときあなたならどうしますか。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒） 発表時の対応及びその時の状況

マンガで描かれている、先に起こった地震や南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)の
地図で位置関係を整理しながら、各地域で何が起こっていたのかをみてみましょう。

大きな被害がなかった地域

(津波に備えた事前避難対象地域なし)

- ・大きな被害なし
- ・地震への備えを再確認し、地震に備えながら通常の生活を送る
- ・企業活動等は通常通り
- ・一部物資の不足が想定される



大きな被害があった地域

- ・揺れや津波による甚大な被害、火災の発生
- ・人命優先の応急活動の実施
- ・不足する救援、医療、物資
- ・広範囲にわたり電気、ガス、上下水道、通信サービス等のライフラインが停止
- ・多くの道路で亀裂、沈下等による不通が生じ、鉄道や空港などの交通インフラも停止するなど

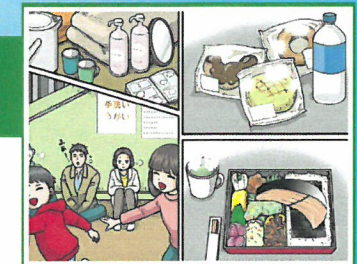


このマンガの震源

大きな被害がなかった地域

(津波に備えた事前避難対象地域あり)

- ・大きな被害なし
- ・事前避難対象地域の住民は1週間の事前避難
- ・企業活動はできる限り継続
- ・交通インフラについても、安全性に留意し、できる限り事業を継続
- ・学校等が休業することもある(お住まいの自治体にご確認ください)
- ・生活必需品の買い占めが想定される



南海トラフ巨大地震の
想定震源域

※マンガの設定を基に想定したものであり、南海トラフの西側の領域で先に巨大地震が発生する場合があります。